

決算審査について

令和元年度の一般会計、各特別会計及び水道事業会計の決算は、9月（令和2年第3回）定例会において予算決算特別委員会に付託され、9月15日～17日の3日間で審査され、9会計すべて認定されました。決算審査は、市政全般にわたって、多くの質疑がありました。その中から、抜粋してお知らせいたします。



Q A 騒音区域周辺テレビ受信料補助金

Q 令和6年度に補助が終わる地域と、すでに終わってしまった地域があり、不公平ではないか

A 昨年度より、防衛省の助成内容の見直しを踏まえ、それに沿う形で見直しを実施しています。

Q A 地域おこし協力隊事業

Q 地域おこし協力隊の現状について

A 現在は、モンゴル国との経済的・文化的な交流を推進するため、モンゴルの方を1名、オリンピックのホストタウンとして、関連事業による町おこしを念頭に、ウエイトリフティングで実績を持つ方を1名、情報発信事業に造詣があり、本市のビジネスプランコンテストに参加いただいた方を1名採用し、計3名の方に活動をしていただいています。

Q A オリパラ交流推進事業

Q オリピック・パラリンピックが延期となり、事業の現状はどうなっているか

A オリパラ交流推進事業のメインとしては、モンゴル国ウエイトリフティング競技団体の事前キャンプであり、令和元年8月18日から9月2日にかけて実施しました。旧みずまるレストランにおいてウエイトリフティングの練習を行い、市民との交流事業にも参加いただいたところです。

その後、令和2年10月に事前キャンプを行いたいという事で調整をしていますが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、今のところ見送りとなっています。今後は、できれば国内、もしくはリモートでの交流は継続していこうということで、令和2年度の補正予算を計上しております。



Q 旧みずまるレストランの部分はどのなるか

A 場所については、期間中、開発公社から借用し、使用していましたが、現在は借用していません。霞ヶ浦ふれあいランド再整備計画に当該施設も含まれているので、その中で検討されると考えています。また使用しない期間についても、できるだけ市で借用し、活用したいと考えています。

ふるさと応援寄附金

Q コロナ禍において、寄附金は前年に比べて増加しているのか

A 昨年は9,957件で1億9,214万8,000円であり、今年度は8月時点で約6,000万円ほどの寄附金をいただいています。前年度と比較すると、現時点で1,000万円程度増加しています。

新公共交通システム事業

Q 利用者は少ないのが現状だが、試験運行の部分は続けるのか

A 当初はスクールバスのすき間時間を活用して運行していたが、令和2年度にワゴンタイプのバスを購入し、引き続き運行していく予定です。今まではすき間時間の運行でかなり制限がありました。今後は距離の延長など活用しやすいルートなどの検討に努めます。

Q ワゴンタイプのバスを購入したことで、デマンドタクシーのように活用できないか

A デマンドタクシーの方が良いという意見もいただいています。経費的には高くなっていますが、あくまで市営路線バスという形での運行で、市民が活用しやすいよう、路線なども各種機能と調整していきます。

インターネット公売システム利用料

Q ヤフー株式会社のインターネット公売サービスが終了するが、今後の予定は

A 令和3年3月でサービス終了のお知らせがあり、別の業者等で継続したいと考えていますが、現時点ではまだ、代わりとなる業者は見つかっていない状況です。

有機肥料供給センター管理事業費

Q 使用料及び賃借料が、ほとんど不用額となっているのはなぜか

A 有機肥料を粒状にし、バラの肥料として販売する予定でしたが、契約した事業者の工場が長野県にあり、令和元年の台風により被害を受け、昨年度は作製することができなかつたため、不用額となっています。

スクールバス運行業務委託料

Q 今後、国からの補助金がなくなってしまうが、どのように考えているか

A 令和2年度で補助金がなくなると、財政の負担が大きくなるため、国・県に引き続き要望を行っていきたいと考えています。

夢先生運営負担金

Q どういった事業か

A JFAこころのプロジェクト、夢の教室という事業の業務委託料です。現役スポーツ選手が来校され、体育館でのふれあいと、教室で夢のスピーチを行うという事業になっています。小学校5年生を対象にしており、市内4校において、毎年1校ずつ順番に行っています。